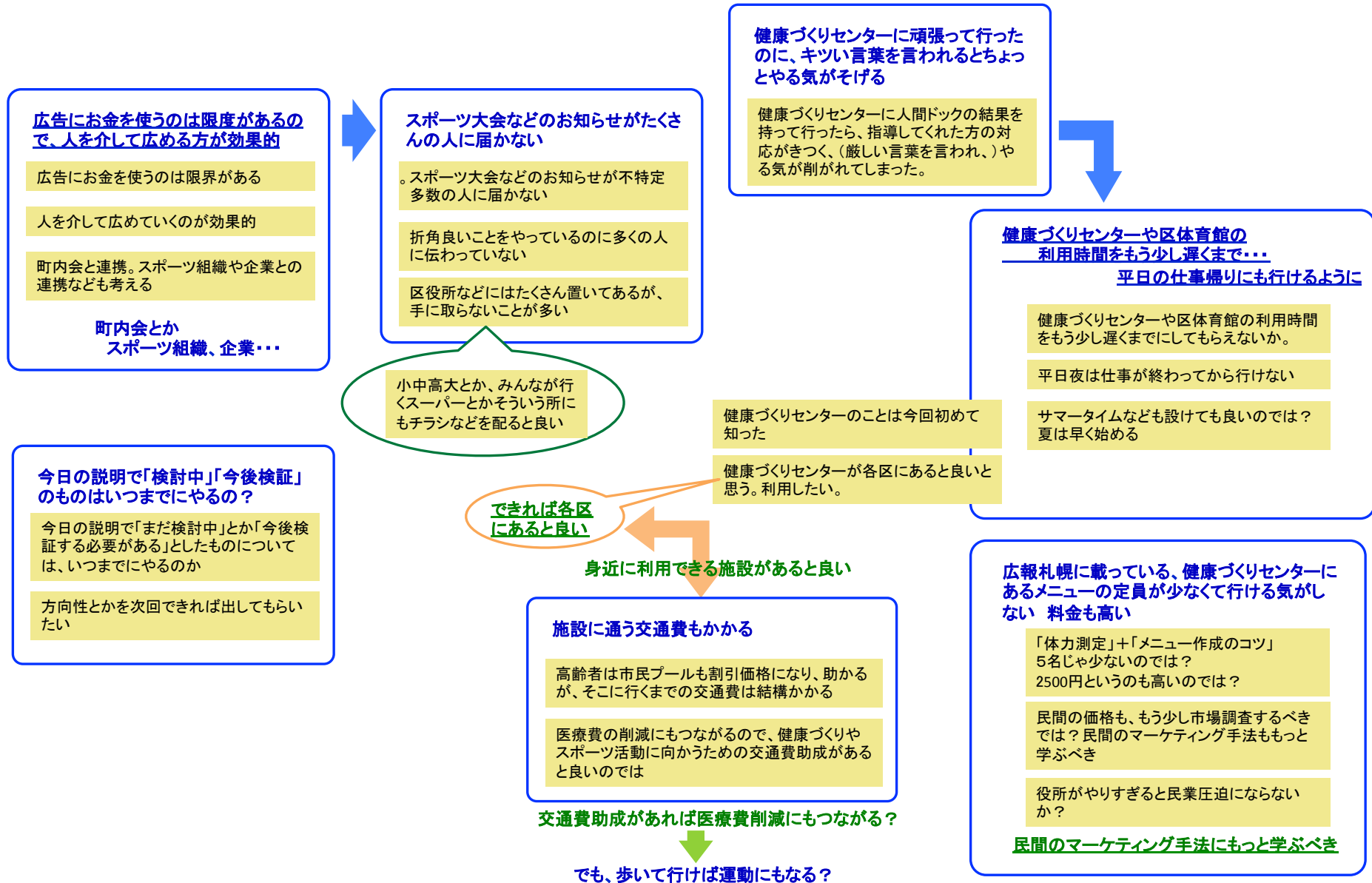
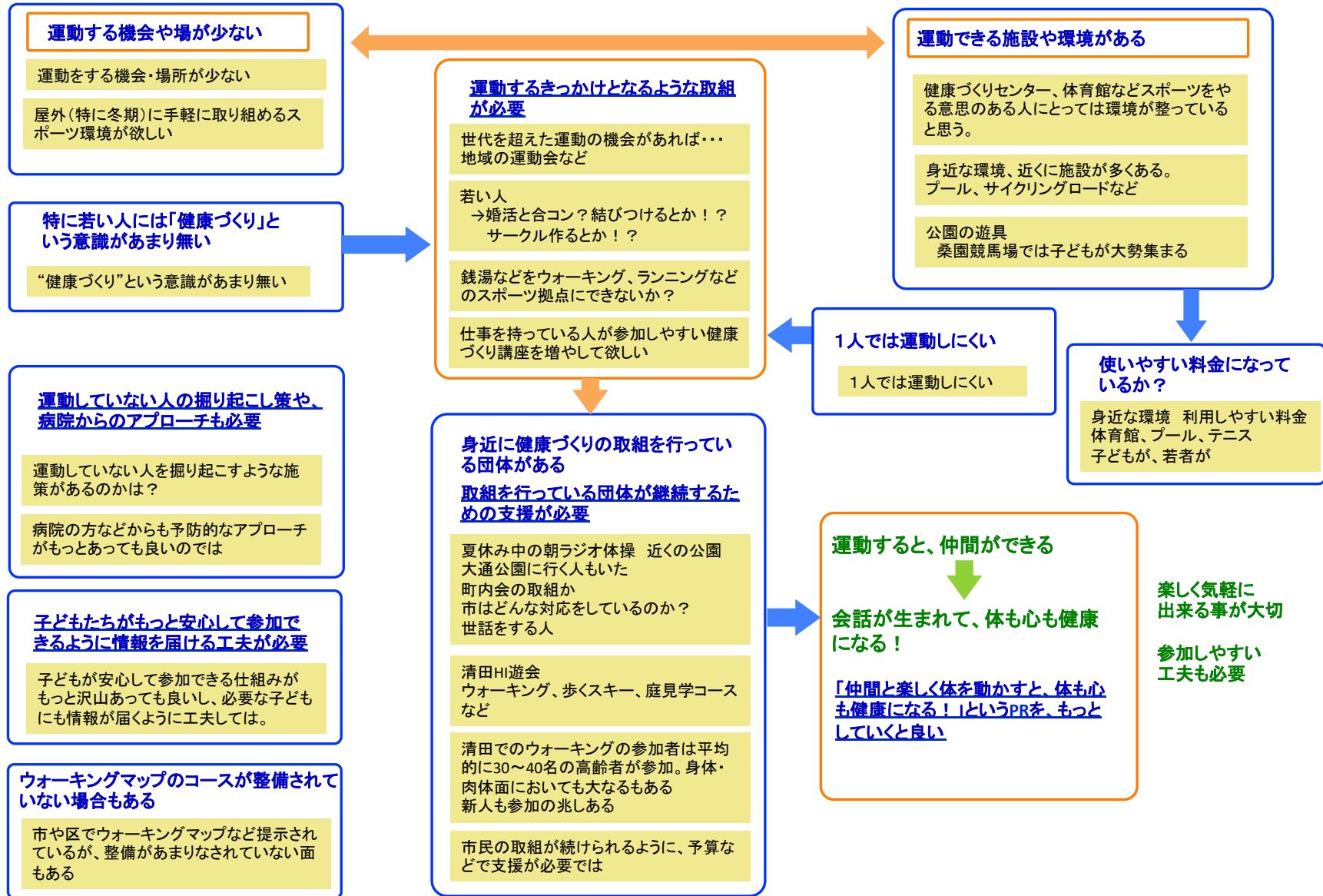


・ 〈前半〉 テーマに関して市民目線から見た現状と課題



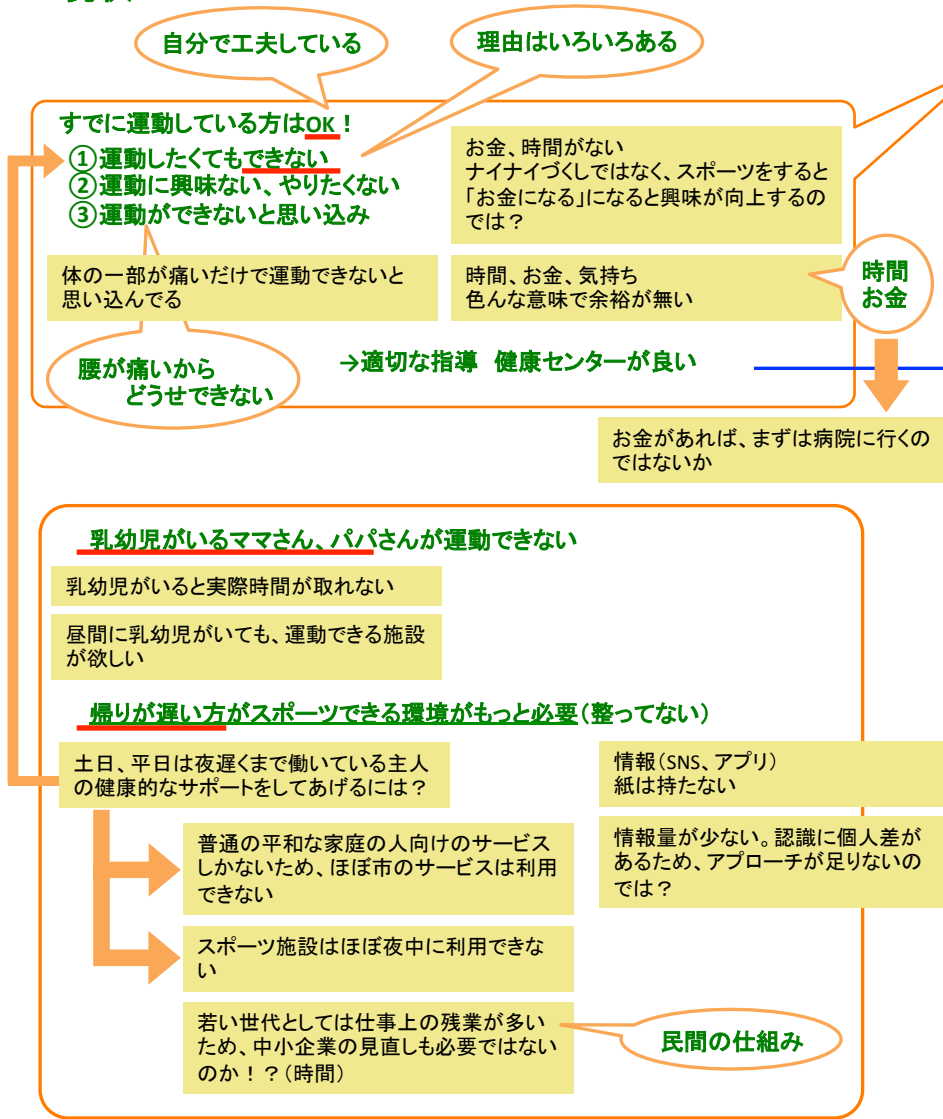
・ 〈前半〉 テーマに関して市民目線から見た現状と課題



・ 〈前半〉 テーマに関して市民目線から見た現状と課題

現状

課題



- 運動が「できない」「してない」方の理由に着目した支援が必要ではないか!
- 子育て世帯(乳幼児～小学校)が「楽しく」「ポジティブに」運動できる!(実感できる)ような機会がもっと必要(継続性、定期性、癖付け)
 - 区の体育館のファミリー開放を利用しています。いつも多くの方がいるのですが、時々何かの大会とかで使えないので少し不満です
 - レクリエーション、ストレス発散で運動して、結果的に健康に
- 健康づくりの前提として、医療的支援が受けられない人への対応の充実
- 意識づくり、モチベーション、気持ちの余裕をどう作るかが大切である(お金、残業、スポーツができないという思ひ込み)
 - 会社の働き方の仕組み
- 健康づくりに関する情報の受け手が受けとりやすい工夫があるとよい
 - 例)アプリ・SNSなど若手向け、広報・回覧・TVなど高齢者向け
 - 例)ゲームに組み込む、ココに行けばわかるという窓口
 - 例)興味ある情報がくる
 - 自分のきっかけは子どもの習い事を見ていて、一緒にやってみたくなった
- 一緒に参加できる仲間がいるとよい(1人では参加しにくい、続かない)
 - 例)マンション単位・自治会単位で参加、同世代・同テーマで参加
 - 例)時間帯の工夫(夜)→夜はポイント2倍
 - スポーツ事業は昼だけではなく、夜に実施できないか
 - スポーツ開催の際、対象者を年代別に分けてみると良いのではないか?
- 登録制度(情報が送られる)やポイント制度があるとよい
 - どこかの市で実施しているように何かに参加するとポイントが加算される方法は良いと思う
 - インターネットで市又は区に登録しておけば色々な案内を送ってくれる

・ 〈前半〉 テーマに関して市民目線から見た現状と課題

